赤ちゃんおぶって
危險に突入する母達

一機でも多くつくるためには一人でも多くが必要だ、勝ちぬくためには、なんといっても人的戰力の擴充が必要だ「もの」をつくりだすのは人だ、戰力の土台になるものは人である、だから國家でも昭和十六年一月の閣議では人口政策といふものを決めて、國生術はたくましい大和民族を

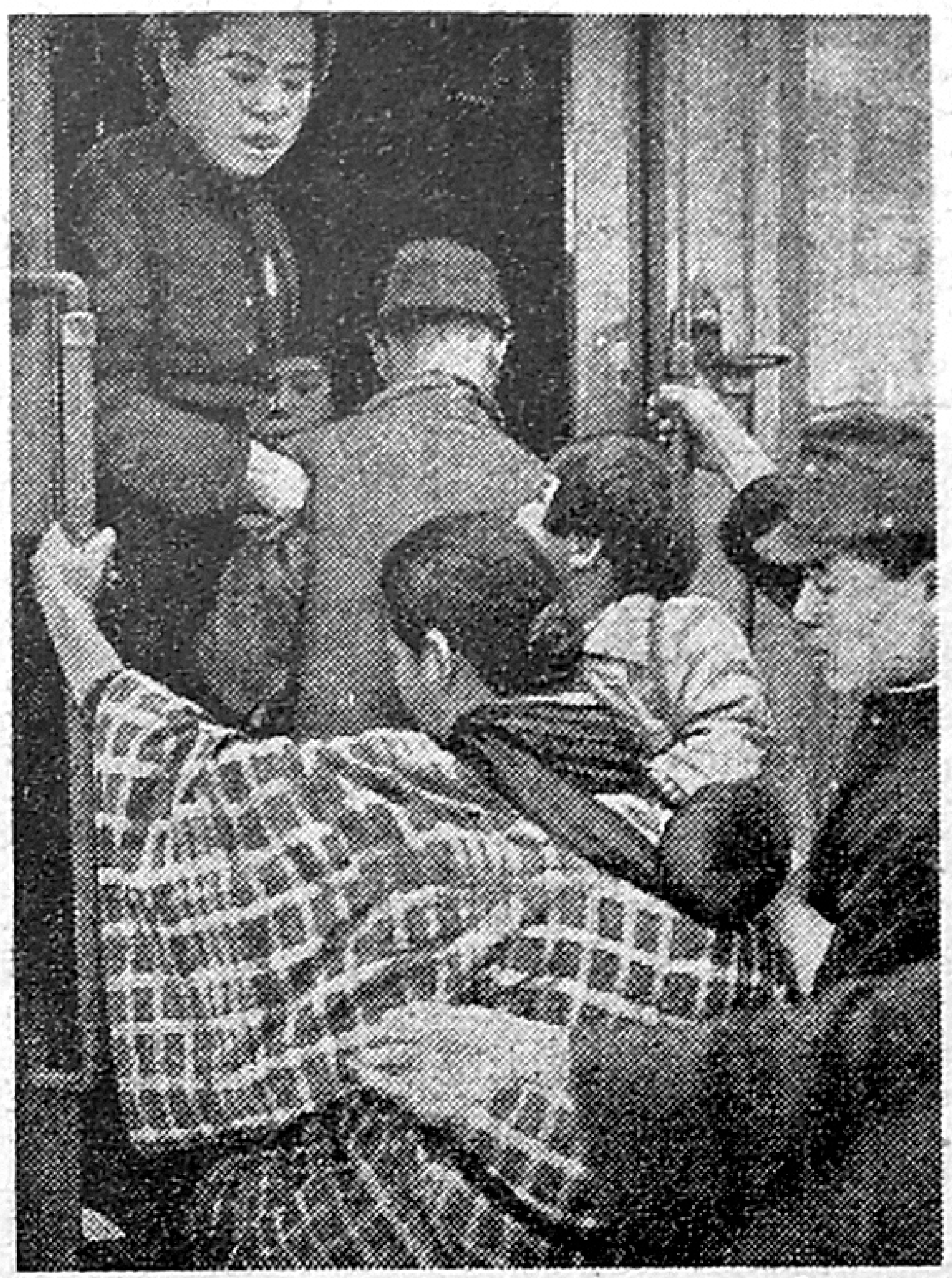
生成しようとしてゐる、そして「生むこと」「育てること」を國民にむかって說き、またそのための運動を行ってゐるのだ、戰時運動といふものが全國にわたって熱心にくりひろげられてゐる、この國策の線にそって「生むこと」はすばらしい成績をおさめてゐるが「育てること」になると、まだお母さんたちの不注意から死亡率はとても高い

残念なことである、赤ちゃんを丈夫にそだてること——それもまたお母さんの戰ひだ、第一線の勇士にこたへる責任だ、赤ちゃんを育てるうへに一段の研究が要るわけだ

いま赤ちゃんの死亡の四割は呼吸器だといふ、それも肺炎なのである、三割は胃腸の障害で、他の三割は生れながら弱いためだといふ、かういふ死亡率をすっかりなくすることがお母さんとして戰爭に勝ちぬくことだ、とくに心すべきは死亡の

四割までを占めてゐるのが呼吸器のためであるといふことだ、この原因の多くは赤ちゃんを背負って人混みのなかへ出かけていくことである、そのために赤ちゃんは細菌やその他にをかされて可憐にして弱い生命を散らしてしまふのである、子供をつれた外出は、防空戰を妨害するだけでなく衛生の上からも危險なのである、日常でも大混雑の

車内で赤ちゃんが人混みに圧されながら苦しがってゐるのがお母さんには判らないのか、それにいつ空襲があるかもしれない、そんな場合、赤ちゃんをつれたお母さんはどういふ處置を覺悟してゐるのか、夫が前線に、職場に戰ってゐるのに赤ちゃんを背負っての危險な外出は今日から絶對にやめるべきだ



大膽すぎる
責任ある母の自戒を望む
愛知縣輸送課長　夏目義明

空襲の關係からか、このごろ子供づれの母親の外出が目立ってゐる。大切な國のたからを輸送混雑のただなかにさらけだし弱い生命をあへて失はせようといふのか、またはかり知れぬ空襲の危險に大膽にもさらさうといふのか、子供を可愛いと思はぬ母親は一人もないはずだ。その可愛い子供を、なんの必要あって、輸送の混雑のなかへつれだして、人混みにもませてゐるのか。母は子供を守り、家を守って、この戰ひに勝利をもたらす責任があるはずだ。お互に自戒しよう。子のために、夫のために、國のために、勝つために。

醫師の立場から
絶對にいけない
名帝大教授　醫學博士　坂本陽

お母さん達が小さな子供さんを背負って外出なさることは醫學上から申すと、空氣の惡い場所へ人の混雑する所などはいけません、小兒は抵抗力が弱いので敵菌に冒されやすく、それに傳染性の疾患にも罹る率がたいへん高い、とくに乳幼兒の命とりである呼吸器系の病氣は恐るべきであります、いま一つお母さんは幼兒の食後、すぐ背負っては胃腸障害を起しますから御注意下さい、要は確かに幼兒を育てるには、空氣の惡い人混みの場所に子供を連れて出かけないことです

映畫評
文化映畫二題

◇…「轉換工場」（朝日＝三卷）は傳統を誇る山村の製糸工場が時局の要請に應へて精密測定器工場に轉換する物語で、演出は「空襲」「お菊ちゃん」の森永健次郎。轉換工場を大きな社會的面からみたものではなく轉換したらどうやるかといふ轉換者への解說映畫である。

◇…「國民合」（協映）は「運動子供愛」「霧晴れ街道」の國木田三郎の演出である。

【演藝新番組】名古屋市内の各館◇京門劇場　カワベキミオ一座「五月の足音」「鯉のぼり」「青空子守唄」◇大勝館　鬼俊英、わさみ樂團、木戸新太郎一座「故郷の雨」「紛失物語」◇新花園　本郷秀雄一座、わらわし座公演　以上一日から

工場◇遊戯
まちがひ

○…一人だけ室に殘って、みんな室外へ出て下さい。殘った人はたとへば額を逆に掛けたり、置物の向を變へたり本を伏せておいたりします。室外の人々を呼び入れて「さあ皆樣何が前と違ってゐるか解った方はそっと御着席下さい」といひます。解った方は着席して下さい。

○…たゞしこのとき、なほ正確に全部發見してゐるかどうか確めるために着席した人の所へ行って小聲で罰ねて御覽なさい。もちろん一番正確に早く發見した人が勝を得ますが、逆に最後に出て一番遲れた人に賞品を送るのも一方法でせう。

いちばんこわいは　爆彈の彈片
陸軍省醫務局衛生課長・陸軍大佐　出月三郎

空襲救護

・南方・で活躍してゐる先鋒や同盟からの最近の報告の統計によると

空襲の被害の六十一パーセントは爆彈の破片

機關銃、砲の被害は廿一パーセント

建築物崩壊物の破損による被害が五パーセント

爆風による損傷は五パーセントで、爆風が恐しいといはれてゐたが爆風の被害は距離によって激減し二百五十瓩爆彈では八米の距離で十二氣壓、十米では六氣壓、廿米離れれば一・五氣壓で廿五米も離れゝば一氣壓にも足りなくなってしまふ、もちろん六米以内の距離では即死、十米までは重症であとは輕症または被害なしである

こゝに實例をあげますと二百五十瓩爆彈で十五米の所に立ってゐた男が、氣壓は四、五ぐらゐでしたが吐血呼吸困難を訴へました、そこで一〇〇〇瓦の排氣を行ふと一週間で全治しました

・だか・ら空襲において最も注意すべきは彈片で爆彈の彈片は一万個に近く飛散します、損傷の部位は一人で沢山の傷をうけるから一發でも油斷がならない、角度は十五度から四十五度の所があぶなくまた人體で一番損傷を受ける部分は頭部が四〇パーセント、次で腕部、脚部といふ順である、これも

・實例・をあげると、街角で二人の子供が遊んでゐて、一人はしゃがんで地面に字を書いてゐたが一人は立ってそれを見てゐたが、立ってゐた子供は即死し坐ってゐた子供は無事であったといふ事實もある、彈片はある程度は逃れることが出來るので

・その・心掛け一つで空襲はなんら恐れることはないといへるが、防止に全頭腦を集中し万全を期することです

・空襲・の被害は豫防し得られるものである、然しこの考へが殘念ながらまだ一般には徹底理解されてゐない、事前準備としては第一に待避、つぎに防衛施設、訓練です、腕に厚い布を巻くのも大變效果がある、防空壕は南方の例でいふと、被害者の八〇パーセントは待避壕の外にあったもの

・米軍・は人一人でも容赦なく機銃掃射で追ひかけるので十分に注意して待避しなければならない、それから待避の要領だが壕の入口に向ってゐるか、後ろを向けてゐるかしないと耳の損傷を受ける惧れがあり、また耳につめる綿は少量の油を塗っておくとよい

・空襲・後の治療としては重症なら「酸素吸入」と「鎮靜劑」が適當で快癒が早い、なほ大切なのは、まだ實施されてゐないが救護班とおなじく強力な「救出班」が組織されなければならぬことです、都會ではなほさらで建物の下敷きになって救出されゝば助かるところをその儘にしたがため人命を失ふなどといふことが無いやうにしなければなりません

・とに・かく空襲は豫防で克ち得るものです、國民が協力して豫防しなければならぬものなのです

女・子・挺・身・隊
（俳優）木戸新太郎

藝能いくさ

このごろ移動演劇があらゆる方面の増産戰士の慰安のために組織され、急速にその効果をあげてゐます。しかし、ある意味では時局に便乘するだけで折角の努力の實らないうらみもある。われわれの劇團も古い言葉だが「舞台は戰場」の心がまへで、あくまで藝能報國に挺したいと思ふ。このごろも名古屋のある工場で、女子挺身隊のための慰安の會に出演した。そのとき職場の隅々はまことに綺麗に整頓され、しかも隊員のお嬢さん方の一擧一動はまったく一分の隙もないといっていゝ美しい秩序が守られてゐるのを見た。

増産への底力を見た思ひだったが、その瞬間に自分らを顧みてこれでよいかと思った。私たちの演劇は、その思ひに徹したときに、新らしい飛躍があるのだ。

新映畫　「轟沈」評

◇…ひそかに製作のうちに完成した印度洋潜水艦作戰の記録映畫である。十人の映畫關係者が潜水艦に同乘し、敵艦船轟沈の瞬間を捉へた。然しこの映畫は潜水艦乘員の勞苦の方がより丹念に撮られてゐる。

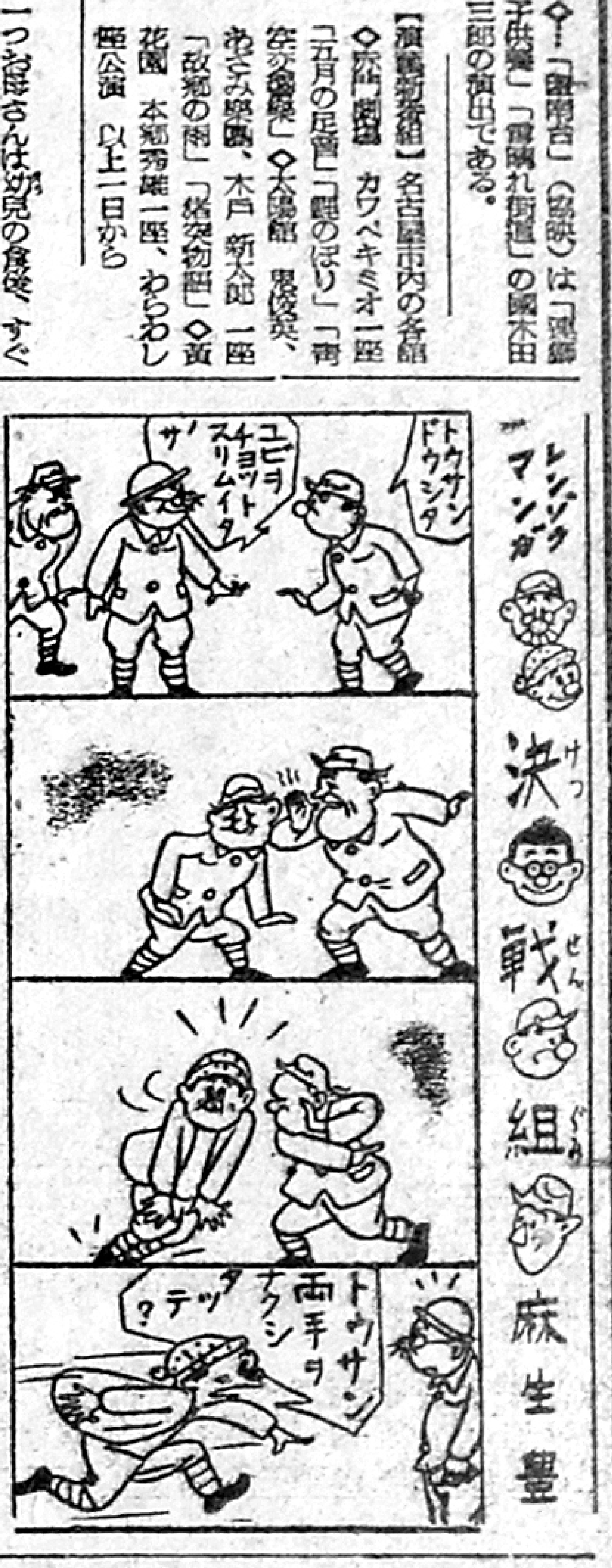
◇…演出は「空の神兵」の渡辺義美ほか二名、撮影は「陸軍航空戰記」の坂齋小一郎ほか四名、その他に録音の國島正夫、作曲の江口夜詩が海軍報道班員として同乘、敵の爆雷炸裂をさけて沈下する艦内の將兵の緊張なども轟沈の場面と共に生々しく印象に殘る。（冥）

襲名でおどす米××××
××××建艦宣傳のサバヨミ

外電によると米國のエセックス級二万七千トン新空母ボム・ホム・リチヤードが四月二十九日にブルックリン海軍造船所で進水したといふが、これは怪しい。ブルックリンにはこんな空母を建造する船台もないし、二万七千トン空母は計畫量十三隻全部進水ずみのはずだ。

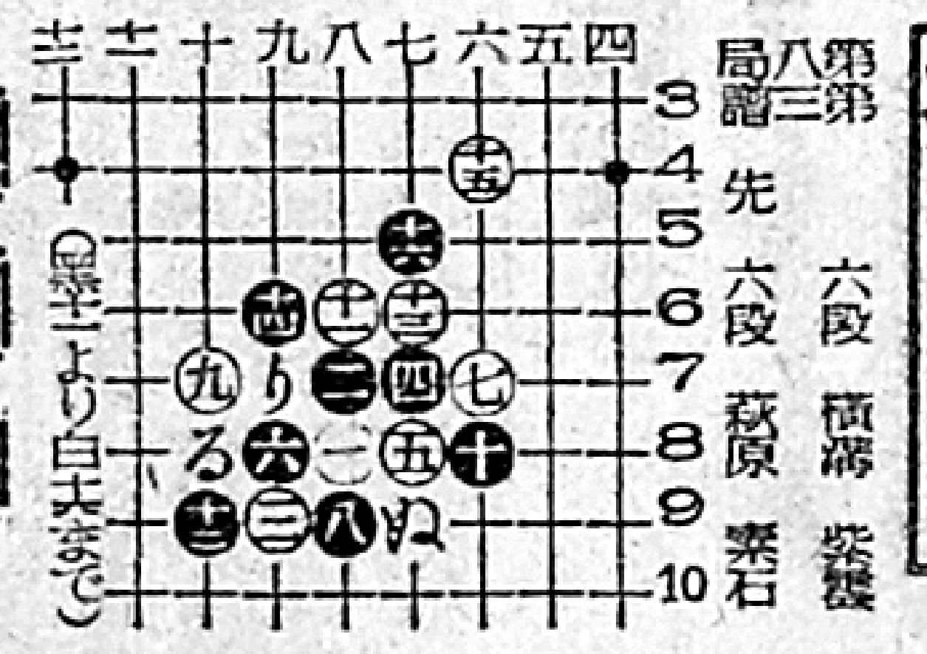
では今回のボム・ホム・リチヤード進水の情報は全然事實無根かといふと、必ずしもさうとばかりはいへない。同じくエセックス級として計畫されたキヤボットが進水のときレキシントン代艦となったあと名づけ、別の空母がキヤボットを名乘って就役してゐるといふ例があるのである。

但し實在する米空母キヤボットは二万七千トンのエセックス級ではない。空母急速補充計畫によってクリーヴラント型一万トン級巡洋艦から改装されたうちの一つで艦隊用特設空母としての性能は速力卅四ノット、搭載機卅六機、進水はブルックリンであった。この例から見ても今度のボム・ホム・リチヤードの正體もおそらくこの一万トン級改装艦であらう。


トウサン ドウシタ
ユビヲ チヨット スリムイタノサ
トウサン 両手ヲ ナクシタ
テッ？

レンサイマンガ　決戰組　麻生豐

五六七段　選拔勝繼戰
第八局　第三譜
六段　橫濱紫樓
先　六段　萩原棠石


（黒十三より白大まで）

觀戰評
名人　高木樂山

黒七を（り）に打ち、白（ぬ）に來れば黒（る）に打って定石になるから、さう打たうかとも思った…とは萩原六段の感想だが、さうした手もあるにはあるが、この七の方が、五との關係上では打ち易いと思へる。

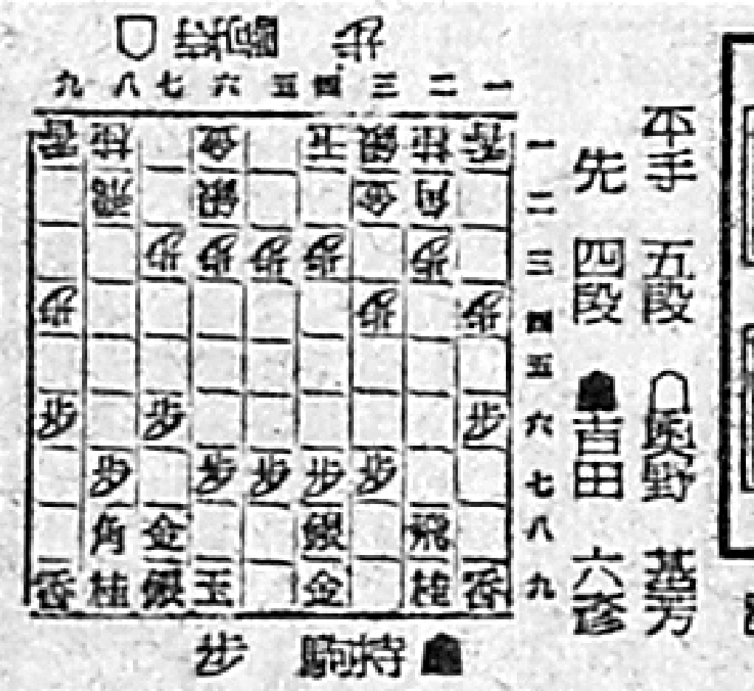
白八、十の打ち方は土俵の眞ん中で四ツに組んだやうで仕掛けた方が危いといふ醍醐味はあるが聊か鈍重の感がないでもない。

相變らずの横濱六段だから、五月場所を豫想して、無意識にかうしてしまったのかも知れないが、白八は一先づ（十三）に引き黒（十二）に際しさせ、白（九）に打って見たかった。

黒九、十一と叩いて白の包圍網を脱し、外郭へ勢力を張らうとしたのは大いにいゝ。

將棋
第四譜

平手　五段　☖奧野基芳
先　四段　☗吉田六彦



（圖は前局六二銀まで）
☗五六歩　☖五四歩　☗五八金
☖五二金　☗五七銀　☖四四歩
（指手三十二手）
消費時間累計（☖一時間五〇分　☗二十二分）

解說
七段　大和久彪

奧野氏の五二金まですっかり先後同型を辿ってゐる。後手方はこゝの同型の駒組中どこかで手を變へる必要がある。どこで變化するかが作戰の分岐點であり、一番むつかしく苦心を要するわけである。

吉田氏の五七銀に奧野氏は瞑目長考する。五三銀とならば同型でその後に變化する手段もあれば、こゝで自己の作戰を決めてしまふ指方もある。長考一時間、愈々態度決定で四四歩角道止の戰法を選ぶ。

戰友記【63】
尾崎士郎
古田十郎畫

水筒（十）

成田は、やっと十二三に見える丸顔の、初々しい眼をした少年の兩肩を抱へるやうにして、ぎこちない英語で話しかけた。

「姉さんはゐるかい？」

「家で手紙を書いてゐるよ」

「誰に出す手紙かな？」

「たぶん、ゼネラル・ソルヂャーに送る手紙だらうと思ふが」

さういってゐる話聲が聞えたらしく、椰子の葉でつくった扉のかげから黒い瞳を瞠た一人の少女が、恥しさうな微笑をつくって顔をつき出した。

「マイ・フレンド、今日は」

と成田は親しさうに話しかけた。「君はゼネラル・ソルヂャーに手紙を書いてゐるさうぢゃないか？」

「ちがふ、私は今洗濯をしてゐたところです」

わざとらしく、水にぬれた兩手を成田の前でひろげてみせた。

「そんなに恥しがらなくともいいよ、このひとはゼネラル・カヒザカ（貝坂）の親友なのだ」

すると、少女は何か早口に言って、なつかしさうに赤塚の顔を見あげた。

「君は貝坂氏が好きですか？」

小助が眞劍な表情をして訊問すると、

「大好きです」

と躊躇なく、ヘキヘキした聲で答へた。「私は貝坂なしには生きてゐられません」

「えつ？」

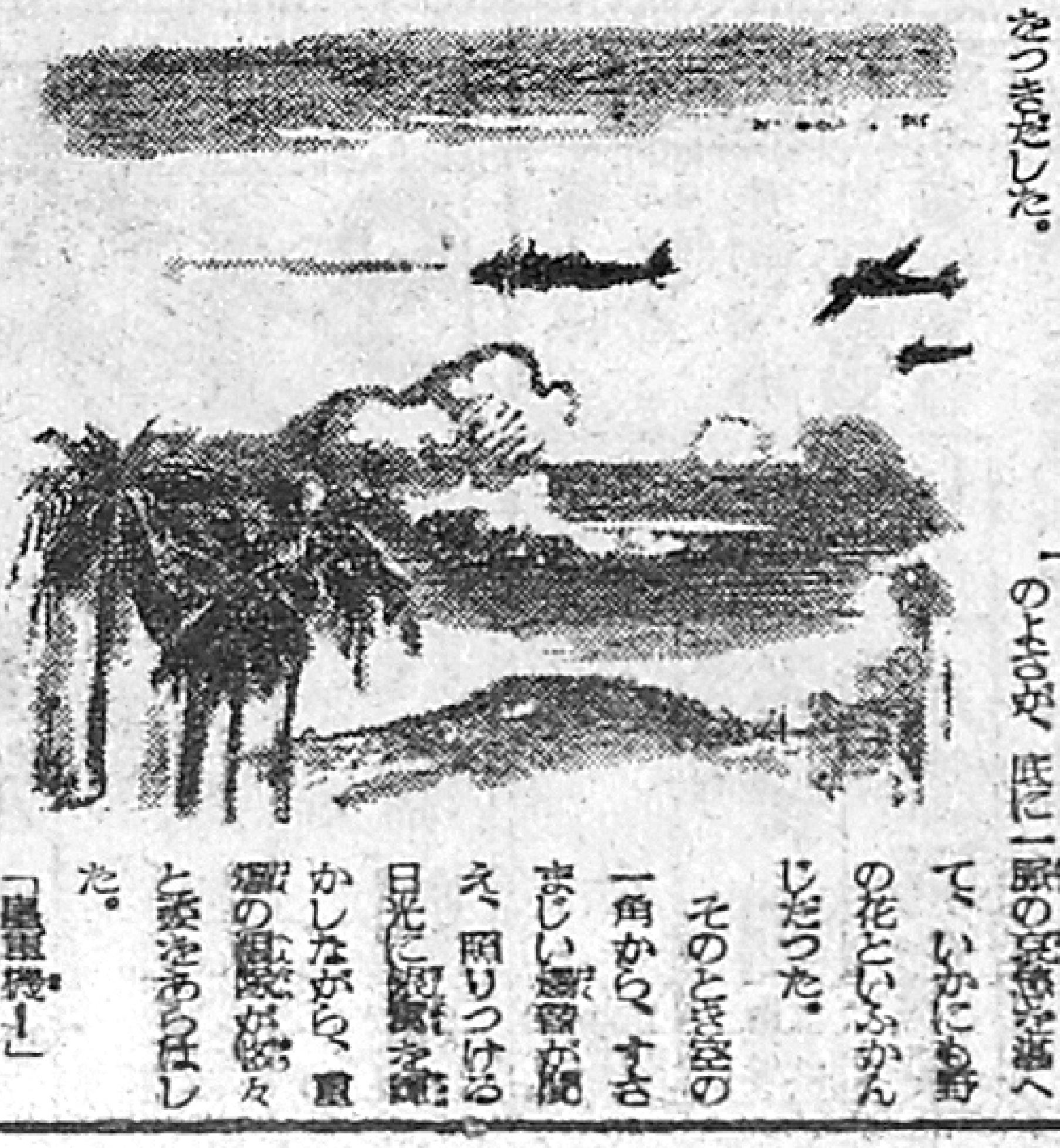
小助の方がドギマギしてしまった。「すると、貝坂は君の戀人ですか？」

「ノー、ノー」

と少女は怒ったやうな眼つきをして叫んだ。

「貝坂は私のお父さんです」

ひた向きな眼織にぶつかると、小助は思はず笑ひだしてしまった。相川が、ナチヴ山頂で負傷に救はれたといって話してきかせた少女に相違ない。——清楚な品のよさが、底に一脈の野生を湛へて、いかにも野の花といふかんじだった。



そのとき空の一角から、すさまじい爆音が聞え、照りつける日光に翼を輝かしながら、重爆の編隊が悠々と姿をあらはした。

「重爆機！」

「バンザイ」

と、外で子供たちの騒ぎたてる聲が聞えた。

勤◇勞◇俳◇壇
加藤霞村　選

——囀——

岐阜　平井瓢子
囀りや土岐一門の墓所
三菱發動機　植地芳煙
囀りや椿の上の午後の海
囀りと溪流の音あるばかり
三菱發動機　安田鬱姫
囀りのこの道行けば麗かな
囀りや湖畔のホテル寂として
名古屋西　長相秀山
囀りや野中に響きし森一つ
三菱重工　大矢冷水
囀りや斷面白き松の節
豐川工廠　近藤恒一
囀りに徹夜の窓のしらみたり
四日市燃料廠　飯淵八郎
囀りや昨日の疲れすでになく
三菱航空機　大島翠木
囀りを眞似て氣輕き友なり